

大腿骨頸部骨折で骨接合術を受けられる患者様へ

	患者名		様		主治医		担当看護師		
	入院日	(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4～9日目	術後10日目	術後11日目～
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
到達目標	☆落ち着いた環境の中で心身ともに手術に向けての準備が出来る。	☆不安なく手術を迎えられる。	☆術後の安静が守ることができる。	☆清潔を保ち感染を起こさないようにする。	☆清潔を保ち感染を起こさないようにする。	☆リハビリを行って徐々に自分でできる事を増やしていく。	☆リハビリを行って徐々に自分でできる事を増やしていく。	☆創部の状態に問題がなく抜糸が行える。	☆車いす乗車ができる。
内服	☆日頃から飲んでいるお薬やアレルギーを起こすお薬があればお知らせください。 ☆必要に応じてお薬を看護師が預かり管理致します。 ☆前日から排便が無い場合は下剤を飲みます。	☆指示のお薬を6時に飲みます。 ☆排便がなければ浣腸をします。	☆薬の服用はありません。	☆手術で中止していたお薬は主治医へ確認後再開となります。 ☆痛み止めのお薬が開始になります。					
食事		☆食事は朝から有りません 		☆朝から食事が開始になります。 					
処置	☆尿道カテーテルを入れます。 	☆9～10時に点滴をします。 	☆心電図モニターを装着します。 ☆必要であれば輸血をします ☆食事摂取できていれば点滴を抜きます。 ☆創部のつけかえをします。 ☆体を拭きます。 ☆問題なければ心電図モニターを外します。 ☆静脈血栓塞栓症予防のため弾性ストッキング又はフットポンプという機械を使用します。	☆採血をします。 ☆必要であれば輸血をします ☆食事摂取できていれば点滴を抜きます。 ☆創部のつけかえをします。 ☆体を拭きます。 ☆問題なければ心電図モニターを外します。 ☆静脈血栓塞栓症予防のため弾性ストッキング又はフットポンプという機械を使用します。 			☆創部を保護し、シャワー浴を行います。 ☆ポータブルトイレに移乗出来るようになれば尿道カテーテルを抜去します。 ☆車椅子へ移乗出来るようになれば弾性ストッキング又はフットポンプは不要となります。	☆全抜糸します。 	
安静 リハビリ	☆ベッド上安静です。			☆ベッド上でのリハビリがあります。	☆体調を見ながらリハビリとなります。 リハビリは午前と午後の2回週末のリハビリはリハビリスタッフより伝達があります。				→
患者 ご家族 への説明	看護師より治療や手術についての準備などの説明があります。 検査、治療、手術の同意書の提出をお願いいたします。		ご家族は検査、治療、手術開始前に来院して終わるまで待機をお願いします。 治療、手術後医師より説明があります。						
医療事務課・ 医療社会事業 専門員	入院時、書類の提出は「入院支援センター」へ診断書や必要な書類などは「①窓口」でお預かりいたします。 	施設や他病院からの入院の方は医療福祉担当が退院時の調整はいたします。 そのほか相談されたい内容があれば「地域連携室」で行います。	入院後治療費や保険についてお尋ねになりたいことは相談ください。	☆早期にMSWと面談を行い、退院先を検討します。					☆退院調整を行います。
サイン									